

Let's Talk About Mie～ふるさと三重英語教材～ 参考 日本語訳例

Let's Talk About Mie

～ふるさと三重英語教材～

参考 日本語訳例

三重県教育委員会

P3 はじめに

みえびい：こんにちは、みなさん。ぼく、みえびい。三重県が大好きなんだ。これから三重県の市と町、ぜんぶに行くよ。ぼくといっしょに三重について学ぼう！

ホッホー博士：わしはホッホー博士じゃ。三重のことなら何でも知っておるぞ。

みえびいメモ

三重県

三重県は日本の中央にあります。

伊勢湾と太平洋に面しています。

14の市と15の町があります。

県の花ははなしょうぶ、

県の鳥はしろちどり、

県の木はジングウスギです。

県の動物はニホンカモシカです。

そして県の魚は・・・イセエビです！

P4、5 桑名市

桑名は三重県の北部にあります。桑名には昔、お城がありました。伝統的な日本文化と大きな遊園地やショッピングモールなど現代的な場所の両方を楽しめます。2016年には、桑名でジュニア・サミットが開催されました。

ゆめはまちゃん：私はゆめはまです。木曾川に住んでいるのよ。桑名が大好きなの。
みえびい：ゆめはまちゃん、頭の上に何が乗ってるの？
ゆめはまちゃん：貝殻よ。

はまぐり

赤須賀漁港では、はまぐりの養殖や漁が行われています。はまぐり料理を味わってみたいなら、港の近くにある「はまぐりプラザ」へ行ってみてください。焼きはまぐりはやわらかくておいしいです。

六華苑

六華苑は1913年につくられました。イギリス人ジョサイア・コンドルさんによる設計です。六華苑はひとつの建物の中に日本の様式と西洋の様式があり、とてもユニークです。六華苑はとても美しく、多くの映画やTVドラマのロケ地として使用されています。

桑名の千羽鶴

みなさんは折り鶴を知っていますか？折り紙でできている日本の手工芸品です。でも、桑名の折り鶴はほかとは少し違います。たくさんの鶴が一枚の紙からできていて、こんな風につながっているんです！桑名の千羽鶴は日本国内でも珍しいです。

桑名の石取祭

石取祭は別名「日本でもっともやかましい祭」と呼ばれています。祭は8月の第1日曜日とその前日に開催されます。約40台の祭車と呼ばれる車が市の中心に集います。人々は太鼓を叩いたり、鉦をならしたりします。とてもエキサイティングです。桑名では石取祭を誇りに思う人がたくさんいます。

(吹き出し内) 桑名の石取祭は2016年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

P6、7 木曾岬町

木曾岬は木曾川の河口部に位置しています。木曾岬トマトは木曾岬の誇るブランドです。町の南側には、木曾岬干拓地があります。新たなエネルギーランド（エネルギーが産み出される場所）として将来が期待されています。

みえびい：トマッピー、すてきな羽を持ってるね。

トマッピー：ありがとう！

トマト

トマトは木曾岬の主要作物のひとつです。温暖な気候と水質はトマトの栽培に向いています。木曾岬では高糖度のトマトが作られています。「とまりッチ」と呼ばれています。とまりッチは、トマトが苦手な子どもでも食べられます。豊かな風味が食べる人を幸せで満足な気持ちにしてくれます。

メガソーラーシステム

メガソーラーシステムは発電設備です。ソーラーパワーは再生可能エネルギーの一種で、環境に優しいです。木曾岬干拓地（木曾岬、桑名市、弥富市にまたがる）には、メガソーラー発電所があります。49 メガワットの発電が可能です。国内最大級の太陽光発電所のひとつです。

伊勢湾台風

伊勢湾台風は日本の自然災害のなかで最も大きなもののひとつです。1959年の9月26日に、伊勢湾台風によって引き起こされた高潮により、木曾岬村の人々が300人以上亡くなりました。学校の建物も台風により被害を受けました。子どもたちは鈴鹿へ3ヶ月もの疎開をしなければなりませんでした。

桜

鍋田川沿いには約4キロメートルに渡って桜の木が並んでいます。春には、約1,500本の桜の木が満開になります。「桜のトンネル」を歩いて楽しむことができます。4月の第一日曜日には、鍋田川いこいパークへ「桜まつり」を楽しみにたくさんの人がやってきます。

P8、9 いなべ市

いなべは三重県の北部にあります。美しい山や清流などの自然に恵まれています。2015 年からは国際的自転車ロードレース「ツアー・オブ・ジャパン」が毎年開催されています。いなべへは、登山やサイクリングを楽しむ人たちがたくさん訪れます。

みえびい：そばとうどん、どっちが好き？

うめぼ～や：そばのほうが好きだよ。見て！このそばはいなべ産なんだよ。

ネコギギ

ネコギギは魚の一種で、1977 年に国の天然記念物に指定されました。きれいな水にしか住まないため、「清流のシンボル」といわれています。大きさは約 10 センチで、口のまわりに 4 対のひげをたくわえています。ネコギギは個体数が減少しています。いなべ市は員弁川への放流により、ネコギギを増やそうと試みています。

そば

いなべの気候はそばの栽培に適しています。2002 年に、いなべでのそば栽培がはじまりました。今では、三重県一の生産量です。いなべにはたくさんのそば打ち名人がいます。いなべ産のそばを出すレストランがあります。

ツアー・オブ・ジャパンいなべステージ

「ツアー・オブ・ジャパン」は国内最大の国際自転車レースです。2015 年から、ツアー・オブ・ジャパンいなべステージが開催されています。いなべは豊かな自然があり自転車レースに適しています。レースは 5 月に開催されます。阿下喜駅を出発してゴールは梅林公園です。多くの自転車レース愛好者がいなべを訪れます。

北勢線

北勢線は西桑名と阿下喜を結ぶ鉄道です。国内では珍しいナローゲージ鉄道です。黄色い電車と沿線の緑の山々の対比はとてもすばらしいです。阿下喜への途中には、ねじり橋とめがね橋があります。とても美しく、多くの人が写真を撮りに来ます。

P10、11 東員町

東員町は2017年に誕生50周年を迎えました。三重県の北部に位置しています。員弁川が町を流れています。町は、北に向かってゆるやかな丘になっています。東員は桑名、いなべ、四日市に隣接しており、名古屋から30キロ以内です。都市に隣接した田園地帯です。ここでは、自然と利便性の両方を楽しめます。

みえびい：わー！人がたくさんいるね。何があるの？

と一馬くん：大社祭さ。わくわくするよ。

七世 松本幸四郎

偉大な歌舞伎役者七世松本幸四郎は、1870年に東員町長深で生まれました。彼の幼名は豊吉でした。4歳で東京に引越し、5歳のときに藤間流の踊り手藤間勘右衛門に養子入りしました。それから豊吉は歌舞伎の9世市川團十郎に入門しました。厳しい稽古をやり抜いて有名な歌舞伎役者になりました。

六把野井水

昔、員弁川の北側では、深刻な水不足がしばしばありました。これを解決するために、江戸時代に、麻生田（いなべ市）から大仲新田（桑名市）まで用水が通されました。これを六把野井水と呼んでいます。12キロメートルに及びます。今でも農業用水として使われています。

穴太薬師如来坐像

薬師如来坐像は穴太の神田神社に隣接する薬師堂に安置されている木像です。平安時代中期の作品と言われています。一本のヒノキからつくられた一木造の像で、左手に薬つぼを持っています。

大社祭

4月の第一土曜日と翌日（日曜日）に、猪名部神社で大社祭が行われます。この地域の若者を鼓舞するために鎌倉時代に始まりました。祭でいちばん盛り上がるのが「上げ馬」です。花笠をかぶった武者姿の少年が馬に乗って一気に坂を駆け上ります。

P12、13 四日市市

四日市市は、1897年に市制を施行し、2017年に120周年を迎えました。「四日市」という市の名前は、室町時代の定期市に由来しています。四日市は豊かな自然、歴史や文化を持った地域です。三重県で一番人口が多い市です。

みえびい：なんて美しい景色！これらは何？

こにゆうどうくん：工場夜景だよ。

四日市とんてき

とんてきは分厚い豚肉のステーキです。大量のキャベツとともに出されます。調理法や味付けは店によってさまざまです。とんてきを食べると、すばやく疲労回復ができるかもしれません！

かぶせ茶

水沢地区では、かぶせ茶がつくられています。日光を遮るために黒いネットをお茶にかぶせます。こうしてまろやかで美味しいお茶を楽しむことができます。

石油化学コンビナート

四日市の臨海部では、いくつかの紅白の高い煙突が見られます。そこが石油化学コンビナート地区です。石油関連の工場がパイプでつながれています。夜になると、息を飲むような美しい工場夜景を楽しむことができます。

四日市港と稲葉三右衛門

四日市港は国際輸送の拠点として日本でとても重要な港のひとつです。四日市港は、1854年の大地震による被害を受けました。稲葉三右衛門は「四日市の経済発展のためには、港を新しく立て直すことが大事」と考えました。彼は自分のお金を使って港の工事を始めました。彼は多くの苦労を経て1884年にやっと工事を終えました。

P14、15 菰野町

菰野は鈴鹿山脈のふもとにあります。御在所岳には（国指定特別天然記念物の）ニホンカモシカが生息しています。「関取米」というお米や「マコモタケ」は菰野の特産品です。

こもしか：御在所ロープウェイに乗ろうよ！

みえびい：わー！紅葉がきれい！

まこもたけ

まこもは植物の一種です。昔、菰野はまこもの生い茂る原野でした。「菰野」という町の名前は、まこもから来ているといわれています。まこもたけは、まこもの茎です。白くてほんのり甘い野菜です。しゃきしゃきとした食感のファンが多くいます。まこもたけは炒め物、サラダや天ぷらなど広く使われています。

五百羅漢

菰野町竹成の大日堂の前には、たくさんの石像があります。これらは「五百羅漢」と呼ばれています。「五百」は five hundred のことです。実際には、469 体の像があります。それぞれの像がちがった顔をしています。自分の顔に似た像が見つかるといわれています。あなたも行って見て、像のなかから自分の顔を見つけてみてください。おもしろいですよ。

ニホンカモシカ

ニホンカモシカは氷河期の生き残りといわれています。1955 年に特別天然記念物の指定を受けました。ニホンカモシカは減っており、絶滅の危機にあります。御在所岳はニホンカモシカ生息地のひとつです。もし運が良ければ、ロープウェイのゴンドラからカモシカを見ることができます。

僧兵まつり

僧兵とは武装した僧侶のことを意味します。昔、天台宗の僧が湯ノ山の寺を守っていました。今では、毎年 10 月に僧兵まつりが行われています。僧兵に扮した若者が燃えさかるみこしをかつぎます。たくさんの人々がこの興奮する祭を楽しみます。

P16、17 朝日町

朝日は三重県で一番小さな町で、桑名、四日市と川越に面しています。町の木は白梅、町の鳥はうぐいす、そして町の花はひまわりです。

みえびい：あの円い建物はなに？

アーミン：校舎だよ。ぼくらの自慢だよ。

朝日小学校円形校舎

朝日小学校には1962年に建てられた円形校舎があります。坂本鹿名夫さんの設計によるものです。彼は1950年代後半から1960年代前半にかけて日本中でたくさんの円形校舎を手がけました。校舎は4階建てです。1階から3階までは、中央に円形ホールがあり、4階は講堂兼体育館として使われています。

縄生廃寺

縄生廃寺は古代寺院の跡であり、江戸時代から金光寺跡として知られていました。1986年に行われた発掘によって発見された容器は、国の重要文化財です。また、屋根瓦も見つかりました。寺は7世紀終わりから8世紀初めに建てられたと推測されます。

森有節

萬古焼は四日市の地場産業として知られていますが、実は、江戸時代に朝日で始まったものなのです。豪商沼波弄山が1736年から1741年の間に朝日の小向に窯を開きました。弄山の死後、萬古焼の生産は途絶えましたが、1832年に桑名の森有節が小向に再び窯を開き、萬古焼の生産を始めました。彼は、桜色の美しい陶器をつくりました。

橘守部

橘守部は江戸時代の国学者で、朝日の小向生まれです。彼は17歳のときに江戸に行き、20歳を過ぎてから古事記や万葉集といった日本古典文学の研究を始めました。彼は独自の学説を持ち、たくさんの著作を残しました。

P18、19 川越町

川越は小さくフレンドリーな町です。人口は約 15,000 人で、近年だんだん増えています。朝明川や高松海岸など美しい水辺の景色がみられます。

みえびい：水辺を歩くのは安らぐね。

ホッホー：そのとおりじゃ。

高松海岸

高松海岸は美しい砂地の海岸です。干潟には、海鳥が集まり、いろいろな植物や魚介類も生息していて、これらは貴重な自然です。週末には、たくさんの人々が釣りやマリンスポーツを楽しみにやってきました。

水路

川越には古い日本の家並みがあります。この地域には、水路があります。きれいな水が流れ、美しい鯉が泳いでいます。その景観は見る者をほっとさせてくれます。

電力

川越は 1959 年の伊勢湾台風で被害を受けました。川越の人々は町を水害から守り、町を発展させることを願いました。その願いを受けて、町は海面埋め立てを開始しました。今ではその地域に火力発電所があります。1989 年に運転を始めました。世界最大級の火力発電所です。

電力館と温水プール

火力発電所の隣には「テラ 46」と呼ばれる電力展示館があり、エネルギーについて楽しみながら学ぶことができます。温水プールもあり、多くの方に利用されています。

P20、21 鈴鹿市

鈴鹿では、自動車産業とモータースポーツが盛んな一方で、鈴鹿山脈や伊勢湾などの豊かな自然を楽しむこともできます。お茶やサツキなどの農産物、伊勢型紙や鈴鹿墨のような伝統的な特産品はわたしたちの誇りです。鈴鹿は魅力的な国際都市です。

みえびい：鈴鹿はモータースポーツで有名です。

将来はレーシングドライバーになりたいな！

大黒屋光太夫

大黒屋光太夫は鈴鹿の南若松出身の船頭です。1782年に江戸に向かう途中で海上で暴風雨に遭い、ロシア領の島に漂着しました。それから日本への帰国許可を得るためにロシアの首都へ旅しました。旅の途中、彼は異文化をたくさん学びました。1792年に初代ロシア使節のラクスマンとともにロシアから日本へ帰国しました。光太夫はロシアや西洋諸国についてたくさんの情報を日本にもたらしました。

伊勢型紙

伊勢型紙は着物の模様を型染めするためにつくられた紙です。伊勢型紙をつくるには、熟練した職人が、加工された和紙に鋭利な彫刻刀で模様を彫っていきます。作成には高い技術と忍耐力が必要とされます。近年では、型紙はルームライトのようなインテリアや、ふすまのような建具などにも使われています。

鈴鹿サーキット

鈴鹿サーキット国際レーシングコースは世界的に有名なレーシングコースです。自動車のF1グランプリやバイクの8時間耐久レースなどのビッグレースが行われます。レーシングコースに隣接して、遊園地、ホテルや天然温泉があります。大人から子どもまで楽しめるレクリエーションエリアです。

サツキ

サツキは鈴鹿の市の花です。鈴鹿のサツキ生産量は全国トップレベルです。石薬師地域の土は植木に適しています。植木の生産は1870年に石薬師で始まりました。共同仕入れや技術向上などの努力により生産量が増加してきました。

P22、23 亀山市

亀山は自然豊かな街です。田畑や茶畑が多くあります。市の西部には、鈴鹿山脈が見えます。山間部では林業が行われています。国道1号線と名阪国道の近くには、工場もたくさんあります。江戸時代には、亀山地区に3つの宿場町（休憩するところ）がありました。多くの旅人がここに立ち寄り、休憩をしました。

みえびい：うわあ！きれい！あれは何？

ホッホー：棚田じゃよ。坂本棚田と呼ばれているよ。

関宿

関宿は東海道47番目の宿場です。東海道とは、江戸時代に江戸と京都をつないでいた街道です。関宿は東海道と伊勢神宮へ向かう道の分岐となっています。多くの旅人が関宿を訪れました。約200もの町屋（伝統的家屋）が現存しています。多くの人々が訪れて、美しい風景を楽しんでいます。

みそ焼きうどん

みそ焼きうどんは、野菜や肉とともに炒めた焼きうどんです。みそで味付けされており、甘辛い味がします。とても美味しいです！

ろうそく

1927年に谷川兵三郎が亀山でろうそく工場を始めました。それから亀山ではろうそく作りがさかんになりました。いろんなかたちや香りのろうそくが買えます。亀山で作られたろうそくは、海外でも売られています。

亀山城 多聞櫓

亀山城は、1590年に築かれました。今は「多聞櫓」がその一部として現存しています。多聞櫓はもともとは武器庫でした。明治時代には、木綿工場として使用されました。現在、県内で唯一の現存する城郭建造物です。県の有形文化財の一つとして指定されています。

P24、25 津市

津は三重の中心にあり、交通が便利です。津は三重県の県庁所在地です。津市の面積は琵琶湖と同じくらいです。「津」という市の名前は、日本一短い名前です。寺や神社のような歴史的な場所、美しい海や山があります。自然、文化、歴史の調和がとれたまちです。

みえびい：しろもちくん、「もち」って英語で何て言うの？

しろもち：Rice cakeだよ。もちはお米からできているんだ。

津餃子^{ぎょうざ}

津餃子は揚げ餃子の一種です。大きさは15センチかそれ以上です。通常のものよりかなり大きいです。津餃子は津市の給食のメニューとして始まりました。学校栄養士が子どもたちの栄養と満足感を考慮して、津餃子を考案しました。今では、津市内で津餃子を出すレストランは多く、人気です。

藤堂高虎

1556年に、藤堂高虎は近江の国藤堂村（現在の滋賀県甲良町）に生まれました。彼は優れた武将であり、徳川家康の厚い信頼を受けていました。また、高虎は築城名人としても知られていました。彼は国内のたくさんの城を築いたり、修理したりしました。

榊原温泉

平安時代(794-1185)、榊原地域は「七栗」と呼ばれていました。有名な女性作家清少納言が随筆「枕草子」(996)の中でこう書いています。「よき温泉は七栗、有馬、玉造」だから、榊原温泉は今も「清少納言に選ばれた温泉」として人気です。温泉水は肌を整える効果があり、「美人の湯」(肌の手入れに適した温泉)と呼ばれています。

津まつり

これは毎年10月に催される津市最大のまつりです。特に、唐人踊りは面白い見物です。370年続いています。豪華な衣装に身を包んだ踊り子が、おどけた面をかぶって独特の踊りを見せてくれます。この踊りは、朝鮮通信使から来ていると言われています。三重県の無形民俗文化財に指定されています。津祭りでもう一つ人気のある踊りが、よさこいです。近年では、参加者がどんどん増えています。

P26、27 松阪市

松阪は、三重県の中部にあります。豊かな歴史と文化に恵まれています。松阪からは豪商や偉人がたくさん輩出されています。また、自然も豊かで、四季の景観を楽しむことができます。地域の料理も魅力です。特に、松阪牛は、品質と味の良さで世界的に有名です。

ちゃちゃも：みえびい、はじめまして！わたし、ちゃちゃも。

松阪牛と松阪茶をモチーフにつくられているのよ。

みえびい：はじめまして、ちゃちゃも！

松阪牛

松阪牛は和牛の有名ブランドです。細かい霜降が入っていて、とてもやわらかです。そのため、松阪牛は「肉の芸術品」と呼ばれています。

松阪木綿

室町時代に綿がもたらされると、松阪地域ではたくさんの綿花が栽培されるようになりました。やがて、松阪木綿が生まれ、江戸時代には、江戸の人々の間で人気となりました。松阪木綿は、その粋な藍色の縞模様が、今も大人気です。

本居宣長

本居宣長は1730年に松阪で生まれました。彼は医者の仕事をしてながら、日本古典を研究し、日本人の心を探究しました。彼は歴史書「古事記」の研究を行い、69歳のときに「古事記伝」を書き終えました。35年が費やされました。彼は鈴と桜が大好きでした。彼の書齋は「鈴屋」と名付けられました。Suzuとは鈴のことです。鈴屋は今も松阪市殿町で見学可能です。

松浦武四郎

松浦武四郎は、江戸～明治時代に蝦夷（北海道）地域を旅して、アイヌの人々について研究しました。彼は蝦夷へ出かけて行って調査し、その旅について本を書きました。彼はアイヌの人々と親しくなり、アイヌの文化を守ろうと努力しました。彼は北海道の名付け親としても知られています。

P28、29 多気町

多気は三重県の中心に位置しています。多気は交通の要所として発展してきました。「多気」という地名は諸説ありますが、その中のひとつに「豊かな食べ物に恵まれた場所」という由来から来ているというのがあります。この地域では、たくさんの食品が生産されています。高校生が運営するレストランはとて有名です！

ホッホー：これは「まごの店」じゃよ。相可高校の生徒が、美味しい料理をつくって提供しているんじゃない。

みえびい：ああ、そのレストラン知ってるよ！テレビのドラマに出てたよね。ランチを食べてみたいな！

伊勢いも（とろろいも）

多気地域では、300年前から伊勢いもがつくられています。伊勢いもは、茶色くてボールみたいな丸い形をしています。おろしですりおろすと、とてもなめらかで、白くてきれいなとろろになります。とってもクリーミーでヘルシーです。

まごの店（レストラン）

まごの店は、相可高校の生徒が運営するレストランで、土日に営業しています。生徒が三重の食材を使って本格的な料理を提供しています。週末にはたくさんの方がレストランを訪れます。

野呂元丈

野呂元丈は、江戸時代の本草学者です。多気出身です。彼は薬草について研究し、医学書を書きました。47歳の時、お目見え医師（特権を持った医師で、将軍を直接診察できた）になりました。その後、オランダ語を学び始め、西洋医学について研究しました。

立梅用水

江戸時代、西村彦左衛門は、人々が米作りをできるようにと、立梅用水を建設しました。用水路は2014年に国の登録記念物となりました。初夏には、用水路の周りで美しいアジサイを見ることができます。

P30、31 明和町

明和は三重県中央部、伊勢と松阪の間に位置し、伊勢湾に面しています。広々とした田園風景と豊かな海産物に恵まれています。明和には斎宮があったことで有名です。

みえびい：わあ、きれいな着物！ぼくも着てみていい？

めい姫：いいよ。明和町においでよ！

伊勢ひじき

ひじきは、食用の茶色い海藻の一種です。日本料理で使われる、人気の食材です。伊勢ひじきは、伝統的な伊勢方式で生産されます。伊勢ひじきは風味と食感がよく、たくさんの人に愛されています。

史跡斎宮跡

斎宮跡一別名「いつきのみや」一は、斎王の宮殿であり、当時の役所でした。斎王は皇族から選ばれた未婚女性で、天皇の代わりに伊勢神宮に仕えました。この制度は670年ごろに始まり、660年ほど続きました。斎王が神宮を訪れるのは特別な祭のときだけで、日々の多くを斎宮で過ごしていました。

いつきのみや歴史体験館

この体験館では、平安時代の歴史や文化を体験できます。訪問者は十二単のような貴族の衣装を試着したり、古代の遊びや手工芸を試したりできます。体験館そのものが平安時代の様式（寝殿造）で建てられた、美しい木造建築です。

斎王まつり

斎王まつりは、6月の第一土日曜日に行われます。まつりの二日目には、約200人が斎王や内侍（宮殿での女性の接待係）等に扮します。平安時代にいるような気分になるかもしれません！

P 3 2、3 3 大台町

大台は宮川水源の近くにあります。宮川は、国の水質調査で、日本一きれいな川だと認定されました。大台町全体が「大台ヶ原/大峯山/大杉谷ユネスコエコパーク」に認定されています。林業と茶業がさかんです。

みえびい：何を飲んでるの？

チャミー、宮坊：大台茶だよ。毎日飲むよ。まるやかな味が好きなんだ。

大杉谷

大杉谷は日本三大渓谷のひとつです。この地域は宮川の源流であり、雨の多い地域として知られています。雨が多く美しい滝や崖をつくり出しました。多くの方が訪れ、登山を楽しんでいます。

大台茶

大台町の農産物といえば、大台茶です。宮川周辺の多雨と霧がお茶栽培に適しています。大台町の茶業は800年前に始まりました。江戸時代には大台茶が宮川の水運によって江戸（東京）へと運ばれました。

アウトドアプログラム

奥伊勢地域では、いろんなアウトドア体験ができます。例えば、清流宮川でのSUP（スタンド・アップ・パドルボート）は、人気のある体験活動です。登山、トレッキングやサイクリングも人気です。ツアーガイドが体験の手助けをしてくれます。

アユ

清流宮川で育った鮎は、淡白で香り高い味わいです。「香魚」と呼ばれることもあります。夏の宮川は、釣り客でにぎわいます。宮川の美しい風景を楽しみながら新鮮な鮎を食べられるレストランがあります。

P34、35 伊勢市

伊勢は三重県の南東部にあり、伊勢平野の南側に位置します。歴史的・文化的な名所や魅力がたくさんあります。伊勢神宮は日本人の間でとても有名であり、古くから「お伊勢さん」と呼ばれています。神宮は、2016年に行われた主要七カ国伊勢志摩サミットで首脳を出迎える場所にもなりました。

みえびい：はなてらすちゃん、どんな食べ物が好き？

はなてらす：伊勢うどんよ。おいしいよ！

伊勢うどん

伊勢うどんは古くから伊勢参りをする人々に親しまれてきました。太くてやわらかい麺が特徴です。甘辛いタレで食べます。神宮に向かうたくさんの参拝客に早く提供できるように工夫されたうどんです。江戸時代に生まれた元祖ファストフードであるという説もあります。

伊勢神宮

伊勢神宮、正式には「神宮」といい、内宮・外宮をはじめとする125のお社の総称です。内宮は太陽の神である天照大御神を祀っています。一方、外宮は衣食や産業の神である豊受大御神を祀っています。神宮は20年ごとに建て替えられます。その式典は「式年遷宮」と呼ばれます。神宮の木材は式典後再利用されます。

沢村栄治

沢村栄治は、1917年に、伊勢で生まれました。彼は偉大な野球選手でした。1934年、沢村は日米野球でピッチャーとしてプレーしました。のちに、彼はプロ野球選手になりました。1936年、彼は日本プロ野球史上初めてノーヒットノーランを達成しました。彼は第1回最高殊勲選手でもありました。

夫婦岩

二見の海岸沖に、大小一對の岩があります。それらは夫婦岩と呼ばれています（Meotoとは、夫婦の意味）。これらの2つの岩は太い綱で結びつけられています。5月から7月には、岩の間から日が昇るのが見られます。夫婦岩の近くには二見興玉神社があります。その神社の境内には、たくさんのカエルの置物が縁起物として置かれています。

P36、37 玉城町

玉城は伊勢平野の南にあります。丘に囲まれた平らな土地です。町の中心である田丸地区は、古くから交通の要所であり、熊野古道の出発点です。玉城町では農業と工業のバランスがとれています。

みえびい：きみの兜の飾りすごいね！

たままる：ありがとう。これは、しめ縄だよ。玉城町でつくられているんだ。

玉城ポーク（玉城豚）

玉城町では、豊かな自然環境で豚が育てられています。豚はストレスなく育ちます。こうした豚からとれる豚肉は、ジューシーでやわらかく、くさみがありません。玉城ポークでつくられるハムやソーセージも美味しいです。玉城ポークを使った玉城カレーも人気が出てきています。

擬革紙

擬革紙は工芸品の一種です。和紙を加工してつくられます。動物の皮のように見えます。それで、「擬革紙」と呼ばれています。昔、擬革紙はたばこケースに使われており、伊勢参りのお土産として人気でした。擬革紙は「三重県指定伝統工芸品」です。

田丸城跡

田丸城は、680年以上前に北畠親房により築城されました。城には天守閣などの建物がありましたが、今では石垣だけが残されています。美しい石垣は「野面積み」方式で建てられたものです。たくさんのひとたちが、城の周りにつろぎにやって来ます。4月には桜祭りが実施されます。

玉城の神社

玉城町は、伊勢神宮につながる道沿いにある町です。玉城町は伊勢神宮との強い関わりがあり、町には神宮の摂社と末社が13あります（摂社・末社とは、本社の管理下にある小さな神社のことを指す）。

P38、39 南伊勢町

南伊勢は、伊勢神宮から見てちょうど南に位置します。美しい熊野灘に面しています。町の60%が、伊勢志摩国立公園に指定されています。この地域の特産物は、海産物やみかんです。たくさん展望台があって、美しい景色を楽しむことができます。

みえびい：はじめまして、たいみー。きみの誕生日はいつ？

たいみー：はじめまして。ぼくは10月1日生まれだよ。

マグロ

南伊勢町では、クロマグロが養殖されています。マグロが成魚に育つまで3年かかります。南伊勢で養殖されたマグロは、高い品質を誇ります。東京や国内その他の地域に出荷されます。

鵜倉園地

鵜倉園地には、展望台が4つあります。見江島展望台からは、ハート形の入り江を見ることができます。「恋人たちの聖地」と呼ばれています。「約束の鐘」があり、カップルが鐘を鳴らすと、願いが叶うと言われています。

あおさ

あおさは海藻の一種です。美しい緑色をした、香り高くヘルシーな食べ物です。あおさ味噌汁は、最も人気のあるあおさ料理の1つです。海の香りが口の中に広がります。食べるとほっとします。

河村瑞賢

河村瑞賢は、江戸時代に成功した商人です。彼は南伊勢東宮の出身です。東北地方から江戸へ米を運ぶ、新たな海路を開発しました。瑞賢は、他にもたくさんの事業に成功し、経済成長に貢献しました。

P40、41 大紀町

大紀町は、大宮町、紀勢町、大内山村が2005年2月14日に合併してできました。大紀は、豊かな自然に恵まれたとても魅力あるまちです。ここでは古くからの伝統文化と風習が、今も生き続けています。

みえびい：ぼく毎日牛乳飲んでるよ！

たいちゃん、きーちゃん：わたしたちの牛乳はとっても人気だよ。アイスクリーム、プリン、バター・・・いろんな使い方をされているよ。

大内山の酪農製品

1948年、大内山村（現在の大紀町）に酪農農業協同組合が設立され、牛乳の販売を始めました。1961年には、学校給食への牛乳供給を始めました。今では、大内山牛乳はたくさんの人々に知られています。後に、バターやチーズ、アイスクリーム等、その他の酪農製品も人気となりました。

錦タワー

1944年、大紀町の錦地区は、津波によって被害を受けました。人々は、災害に備える重要性を学びました。1998年、錦タワーが建てられました。高さは21.8メートルで、500人が津波から避難可能です。それから、第二錦タワーが建てられました。海岸近くにあります。タワーは、普段は倉庫や集会所として使われています。

大瀬東作

大瀬東作は1885年に七保村（現在の大紀町）で生まれました。彼は34歳で村長になりました。当時、小学校の先生の給料の大部分は、市町村が払わなければなりませんでした。それは、小さな町や村にとって負担でした。大瀬東作は、国がもっと義務教育に対してお金を払うべきだと考えました。彼はグループを作って、運動を始めました。彼は「義務教育と地方自治の先駆者」と呼ばれています。

頭之宮四方神社

頭之宮四方神社は、「知恵の神」と呼ばれている神社です。「こうべ」とはあたまのことを意味します。国内で「頭之宮」と呼ばれる神社はここだけです。本殿の近くから「知恵の水」と呼ばれる湧き水が湧いています。正月には、知恵の水で入れたお茶を飲んで、無病息災を願うという風習があります。

P4 2、4 3 度会町

度会は三重県の南にあります。宮川と一之瀬川沿いの中山間地域です。伊勢茶の産地として有名です。宮リバー度会パークには大きな芝生広場とレジャープールがあります。

ティーナ：宮リバー度会パークにはいろんなプールとウォータースライダーがあるの。

みえびい：ぼく、泳ぐの好きだよ！でもウォータースライダーは怖そうだね。

かんこ踊り

かんこ踊りは度会の麻加江地区の夏のお盆の祭りで行われる伝統的な民俗舞踊です。人々は「シャグマ」と呼ばれる独特のかぶりものとわらでできたスカートを身につけます。シャグマは白馬（もしくは黒馬）の毛でできています。円になって太鼓に合わせて踊ります。

十一面観音

十一面観音は本面の上に10～11の面を持っています。平安時代の終わりに、藤原有助は観音像を争乱から守りたいと考え、像を京都から度会町の注連指地区に運びました。彼は毎日観音を拝みました。もともと、十一面観音は美しく色がつけられていました。今ではほとんどの色が消えています。

宮リバー度会パーク

宮川は度会町を流れる清流です。宮川のそばに大きな公園があります。それが宮リバー度会パークです。公園にはテニスコート、ミニゴルフコース、プールなどがあります。春に公園を訪れると、お花見を楽しむことができます。

伊勢茶（わたらい茶）

度会町は日本茶の生産地として知られています。伊勢茶はまろやかで豊かな風味を持った濃いお茶です。品評会で多くの賞を受賞しています。

P44、45 鳥羽市

鳥羽は御木本幸吉が1893年に世界初の真珠の養殖に成功した場所です。また、志摩市とともに海女のふるさとでもあります。さらに、鳥羽は伊勢エビ、アワビ、養殖牡蠣といった海産物でも有名です。

みえびい：鳥羽には友だちが多いよ。

ホッホー：伊勢エビは英語で Japanese spiny lobster っていうよ。
長い名前だね。

伊勢エビ

鳥羽の海は海産物に恵まれています。伊勢エビは伊勢志摩の特産品です。長いひげと曲がった形から、「長寿」のシンボルといわれています。よく正月の飾りに使われます。

真珠

鳥羽は真珠養殖のふるさとです。1893年に、御木本幸吉が相島（現ミキモト真珠島）で真珠を育てることに成功しました。養殖真珠が育つのに2年かかります。鳥羽・志摩の海で育った真珠は優雅に輝きます。

ゲーター祭

この祭は、元日に鳥羽、神島の八代神社で行われます。島の男たちが竹を使って白い輪を持ち上げ、それを落とします。その輪は太陽をかたどっています。これは新年の無事平穏を祈る儀式です。

御木本幸吉

御木本幸吉は1858年に鳥羽で生まれました。彼は真珠の養殖に初めて成功した人物です。彼はふるさと伊勢志摩を愛していました。88歳のとき、彼は伊勢市に資金を贈りました。そのお金を使って、ある道路が開通しました。伊勢神宮の外宮と内宮を結ぶ道路です。「御木本道路」と呼ばれています。

P46、47 志摩市

志摩は三重県の南東部にあります。志摩は豊かな自然と太平洋や内海のすばらしい景観で有名です。例えば、英虞湾と的矢湾はリアス海岸に囲まれています。志摩は2016年の伊勢志摩サミットの開催地としても知られています。

みえびい：しまこさん、衣装がかっこいいね！

しまこさん：ありがとう。これは海女の衣装よ。海女文化について知ってる？

わらじ祭

わらじとは、わらでできたサンダルのことです。昔、だんだらぼうしと呼ばれる妖怪がこの地域にやって来て、悪さをしました。地元の人たちは、大きなわらじをつかって、海に浮かべました。すると妖怪は、この地域には自分より大きな誰かがいるのだと思って驚き逃げていきました。この伝説にもとづいて、人々は毎年わらじ祭の際に長さ3メートル、幅1.2メートルのわらじをつくり、海に浮かべ安全と大漁を祈願します。この祭は三重県の無形民俗文化財となっています。

安乗ふぐ

安乗ふぐはブランドです。志摩半島から伊勢湾と遠州灘にかけての沿岸で獲れる天然とらふぐです。安乗の漁師たちは水産資源を守るためにルールをつくりました。「十月から二月だけ漁をおこなう」「700グラムを超えとらふぐだけを獲ること」などです。コリコリした歯ざわりで、おいしいです。

的矢かき

的矢かきは、高品質なかきとして三重ブランドに認定されています。的矢かきは的矢湾で養殖されています。かきは「海ミルク」と呼ばれます。的矢かきは豊かでクリーミーな味わいです。

横山展望台

標高203メートルの横山に設置されている展望デッキからは、息を飲むほど美しい景色が見られます。景色は季節や天気によって変わります。空気がとても澄んでいて天気がよいときには、遠くに富士山が見えます。

P48、49 伊賀市

伊賀は三重県の北西部にあります。伊賀は伊賀流忍者と俳聖松尾芭蕉のふるさととして知られています。毎年10月には、上野天神祭が行われます。「上野天神祭のダンジリ行事」はユネスコ無形文化遺産に登録されました。

みえびい：ぼく忍者になりたい！忍術を教えてよ。

にんた・しのぶ：博物館では忍術の体験ができるよ。

松尾芭蕉

松尾芭蕉は江戸時代の有名な俳人です。彼は伊賀で生まれ、日本中を旅して俳句を作りました。彼はふるさとを愛し、伊賀にちなんだ俳句をたくさん作りました。伊賀市内にはいくつもの句碑が見られます。毎年、10月12日には芭蕉祭がおこなわれています。芭蕉はいまも伊賀の人々に親しまれています。

伊賀くみひも

くみひもは日本の伝統的工芸品です。手で組み上げる「手組みひも」の大半は伊賀でつくられています。くみひもは刀の紐ひもや着物の帯締おびしめに使われてきましたが、今では、ネクタイやベルトなどにも使われています。

伊賀流忍者

忍者とは、昔の日本で藩主に仕えたスパイといわれています。特に伊賀では、すぐれた忍術が発達しました。伊賀流は忍術の最も有名な流派のひとつです。伊賀にある伊賀流忍者博物館に行けば忍者についてもっとよくわかります。博物館では忍術の体験ができます。

伊賀焼

伊賀焼は約1,300年前、奈良時代に始まりました。伊賀焼は室町時代に茶陶ちやとうとして人気でした。今では、高い品質と素朴な味わいのおかげで、土鍋としても人気です。

P50、51 名張市

名張は三重の西部にあります。古くから人々が行き交うまちとして栄えてきました。今では、名張は大都市への通勤圏です。名張には豊かな自然と貴重な文化があります。

みえびい：ひやわんはすてきなペンダントをしています。かたやきでできているんだよ。かたやきは忍者の非常食だったといわれているよ。

江戸川乱歩

江戸川乱歩は有名な探偵小説家です。彼は1894年に名張で生まれ、1923年に作家としてデビューしました。彼は海外の探偵小説が好きでした。ペンネームの「江戸川乱歩」はアメリカの有名な作家エドガー・アラン・ポーから来ています。乱歩は多くの傑作を書きました。

赤目四十八滝

赤目渓谷の4kmに渡る遊歩道沿いにはたくさんの滝があり、「赤目四十八滝」と呼ばれています。「四十八滝」とは、「たくさんの滝がある」という意味です。実際には、大小さまざまな23本の滝が見られると言われています。「日本の滝100選」に選ばれています。

オオサンショウウオ

赤目地区にはオオサンショウウオが住んでいます。大きいものは1メートルを超えます。涼しくて水のきれいな川がお気に入りです。夜行性で昼間は岩陰に隠れているので、見つけるのは難しいです。もし運がよければ、雨の日に見かけることができるかもしれません。

火縄

名張の火縄は地域のブランドです。竹の繊維でできています。名張の火縄の生産は1671年頃に始まったといわれています。もともとは火縄銃用に作られていました。いまでは、主に京都八坂神社のおけら祭で使われています。

P52、53 尾鷲市

尾鷲は三重県の南部にあります。熊野古道、ヤーヤ祭、尾鷲節コンテストといった伝統的な文化にあふれたまちです。

みえびい：尾鷲ヒノキはいいにおいがするね。甘いにおいを楽しむのがお気に入りだよ。
やーやにゃん：まな板や弁当箱、おはしなど、尾鷲ヒノキでできたいろいろなグッズを買えるよ。

ぶり

尾鷲は雨が多く暖かい気候の地域です。よい漁港がたくさんあります。ぶりは成長するにつれて名前が変わるので、「出世魚」と呼ばれます。尾鷲では、ぶりを定置網でとります。10月ごろに始まり、翌年の6月まで続きます。

ヤーヤ祭り

ヤーヤ祭りは2月初旬、尾鷲神社で行われます。「練り」と呼ばれる行進では、白装束の男性たちが「チョウサじゃ！」という掛け声とともにぶつかりあいます。「ヤーヤ」という名前は戦国武将が名乗りをあげることに由来しています。祭りを通じて、豊漁と豊作を祈ります。

三重県熊野古道センター

三重県熊野古道センターは熊野古道の歴史について知ることができる場所です。センターの建物は尾鷲ヒノキでつくられており、ダイナミックで美しいです。センターの隣には、ランチバイキングレストランやみえ尾鷲海洋深層水をつかった温泉施設があります。

尾鷲ヒノキ

尾鷲ヒノキは美しい年輪と上品なツヤが有名です。ヒノキの木材は耐久性や消臭効果があるので、家を建てるのに向いています。尾鷲ヒノキでつくられた漆器は尾鷲わっぱと呼ばれます。三重県の伝統工芸品の一種です。

P54、55 紀北町

紀北は山と海に囲まれた街です。険しい山と入り組んだ海岸線があり、漁業と林業がさかんです。特に、漁業については、紀北は三重県の中でも有数の漁場を誇ります。温暖で過ごしやすい気候です。

きーほくん：ぼく、きーほくんだよ。頭の上に「マンボーヤ」をのせているよ。マンボーヤのくちびるにさわると、いいことがあるよ。

みえびい：さわってみたい！

さんま寿司

さんま寿司は東紀州の郷土料理です。熊野灘でとれるサンマは脂が少なく、寿司をつくるのに適しています。さんま寿司をつくるには、さんまを薄切りにし、塩漬けた後、みかん酢に漬け、酢飯に乗せます。さんま寿司は、地域によっていろいろな方法でつくられます。各家庭によって味が違います。

種まき権兵衛

紀北には「種まき権兵衛」の民話があります。昔、権兵衛という名の男がいて、気立てがよく、銃の使い手でした。ある日、大蛇が馬越峠の山中に住みつき、旅人や村人に危害を加えました。権兵衛はその蛇を銃で退治し、人々を救いました。権兵衛のモデルは江戸時代に実在した人物です。

大昌寺の格子天井

大昌寺は赤羽地区にあるお寺で、境内には不動堂があります。不動堂には、カラフルな絵の描かれた格子天井があります。江戸時代、1849年から1859年の作品と言われています。全部で143枚の絵があります。それぞれの絵には、有名な和歌とその作者が美しく描かれています。

熊野古道

熊野古道は元来、熊野三山に向かう巡礼道でした。2つの有名な霊場—伊勢と熊野—を結ぶ道でした。今も、たくさんの人がこの道を訪れます。馬越峠は最も人気の場所のひとつです。人々は美しい石畳の道を歩いて楽しんでいます。

P56、57 熊野市

熊野は三重県の南部に位置し、海と山に囲まれ、豊かな自然に恵まれています。熊野古道、鬼ヶ城、花の巖(いわや)など世界遺産が多くあります。夏に行われる熊野花火大会へは10万人以上の人を訪れます。

みえびい：きみはみかんなの？

にいひめちゃん：わたしは新姫よ。熊野で生まれたかんきつ類よ。

丸山千枚田

丸山地区に、1300枚以上の小さな田んぼが斜面に広がっています。この棚田は「丸山千枚田」と呼ばれます。7月には、「虫送り」という行事が行われます。豊作を願い、虫を駆除するために1,000本以上のたいまつが田んぼに設置されます。すばらしい眺めです。

熊野大花火

熊野の花火は、紀州最大の花火行事で、熊野灘に面する七里御浜で行われます。江戸時代に先祖の供養として始まりました。今では美しい花火を見に10万人以上がやってきます。海面に映る花火はすばらしいです。

めはり寿司

めはり寿司は高菜漬けで包まれた寿司です。寿司の名前は「目をみはるほどの」という意味だと言われています。元々、めはり寿司は農民の昼食としてもつくられていました。昼食をとる時間を節約するために大きな寿司をつくったのです。大きくておいしい寿司が人々の目を大きく開かせたので、「めはり寿司」と名づけられたと言われています。

鬼ヶ城と獅子巖(いわ)

鬼ヶ城と獅子巖は国の天然記念物で、世界遺産として登録されています。鬼ヶ城は波の侵食によってできた奇妙な形をした岩です。ほら穴がたくさんあります。獅子巖も巨大な岩で、海に向かって吠えるライオンのように見えます。

P58、59 御浜町

御浜は三重県の南部にあります。町の東側には雄大な太平洋を、西側には紀伊山地を臨むことができます。町は約 20 キロにも及ぶ美しい七里御浜の真ん中に位置します。また、御浜は吉野熊野国立公園の一部です。気候は温暖で、一年中みかんが手に入ります。

みえびい：いろいろな種類のみかんがあるんだね。

ホッホー：御浜では、年中みかんが楽しめるんじゃ。

紀州犬

御浜町阪本には、弥九郎と狼の仔の伝説があります。ある日、弥九郎という鉄砲打ちが狼を助けて、お礼にその狼の仔をもらいました。弥九郎はその仔を「マン」と名づけ、それが紀州犬の始まりであるというものです。これは伝説ですが、峯弥九郎は実在の人物で、阪本には彼のお墓があります。

御浜のみかん

御浜は温暖な気候で、たくさんの種類のかんきつ類が栽培されています。清見は春、温室みかんは夏、早生温州は秋、伊予柑は冬、というように、一年中みかんが楽しめます。

風伝おろし

天候の条件があれば、朝、風伝峠から降りてくる美しい霧が見えます。これは風伝おろしと呼ばれます。秋から冬にかけてのよく晴れた日にだけ見られます。まるで雲でできた滝のようです。

引作の大楠

御浜の引作には大きなクスノキがあります。樹齢は約 1500 年です。高さは約 40 メートルで幹の太さは 15.7 メートルと、三重県最大級の樹木です。明治時代には、このクスノキを切り倒す計画がありました。しかし、著名な博物学者南方熊楠と民俗学者柳田國男がその計画を阻止し、木を守ろうと尽力しました。

P60、61 紀宝町

紀宝は三重県の最南端の町で、三重の南玄関です。豊かな自然と歴史に恵まれた地域です。例えば、熊野川は「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部としてユネスコの世界遺産に登録されています。ウミガメが七里御浜に産卵にやって来ます。

みえびい：わー！かっこいいね。メンバーは何人いるの？

紀宝戦隊カメレンジャー：ありがとう、みえびい。5人だよ。

ウミガメ

紀宝にあるウミガメ公園はウミガメを無料で見られる場所です。また、公園はウミガメ保護活動の拠点でもあります。ウミガメは絶滅の危機にあります。紀宝の人々は、ウミガメの保護にとりくんでいます。ウミガメが産卵する時期は、ウミガメウォッチャーが浜辺をパトロールしています。彼らは浜辺の卵をチェックし、砂浜を美しく保っています。

なれ寿司

なれ寿司は保存食としてつくられたお寿司です。塩漬けしたさんまや鮎といった魚とごはんを混ぜます。それから長時間発酵させます。なれ寿司は、家庭でよくつくられています。

熊野川と三反帆

昔、たくさんの人々が熊野本宮大社と熊野速玉大社を船で訪れました。熊野川は参詣道のひとつでした。このルートは「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部としてユネスコの世界遺産に登録されました。熊野川は世界遺産に登録された初めての川です。旅人や物品を運んだ舟は「三反帆」でした。三つの帆がついた独特の形をしています。

飛雪の滝

「飛雪」という名前は、徳川頼宣の作った詩が由来です。頼宣は紀州藩主でした。彼は滝を訪れたとき、まるで雪のように飛び散る水の美しさに感動しました。

P6 2～ ふるさと三重かるた

- ・これはとても甘くてジューシーな野菜です。木曾岬町の特産品です。
(トマト、木曾岬町)
- ・これは、有名な英国人建築家ジョサイア・コンドルが設計した邸宅です。
(六華苑、桑名市)
- ・御浜町では、年間を通してみかんを楽しめます。
(みかん、御浜町)
- ・これは、玉城町にある古い城跡です。
(城跡、玉城町)
- ・紀宝町では、美しい砂浜でかわいいウミガメが見られます。
(ウミガメ、紀宝町)
- ・彼はさくら色のすばらしい焼き物を作りました。その焼き物はばんこ焼きと呼ばれます
(森有節、朝日町)
- ・毎年夏になると、たくさんの人が熊野へ美しい花火を見にやって来ます。
(花火、熊野)
- ・彼は国内でたくさんの城を建てたことで有名です。
(藤堂高虎、津)
- ・これは1998年に建てられた5階建てのタワーです。約500人が津波から避難できます。
(錦タワー、大紀)
- ・彼は真珠王と呼ばれていました。彼は養殖真珠を作ることに成功しました。
(御木本幸吉、鳥羽)
- ・彼は大きな船が入れるよう、四日市港を建て直しました。
(稲葉三右衛門、四日市)
- ・これはきれいな水に住む魚です。だから、きれいな水のシンボルと呼ばれます。
(ネコギギ、いなべ)
- ・それは和牛の有名ブランドです。とてもやわらかくて「芸術品」と呼ばれます。
(松阪牛、松阪)
- ・彼は伊賀出身の有名な詩人です。彼は日本中を旅して、たくさんのすばらしい俳句を作りました。
(松尾芭蕉、伊賀)
- ・彼は医者であり、教師でもありました。日本で最初の国語辞典を書きました。
(谷川士清、津)
- ・そこではたくさんの美しい滝が見られます。この地域にはオオサンショウウオが住んでいます。
(赤目の滝、名張)

- ・これは伝統的な人形パフォーマンスです。小学生や中学生を含むたくさんの人々が参加します。
(阿乘人形芝居、志摩)
- ・それは鳥羽の有名な島で、三島由紀夫の小説に登場します。
(神島、鳥羽)
- ・これは150年前に始まった伝統的な踊りです。頭に「しゃぐま」と呼ばれる飾りをつけます。
(かんこ踊り、度会)
- ・1959年に、巨大な台風がわたしたちの平和な日常生活を襲いました。
(伊勢湾台風、木曾岬)
- ・多気の水銀は、奈良の大仏を覆うのに使われました。
(丹生水銀、多気)
- ・彼は明治時代の有名な政治家です。伊勢出身で、民主主義のために働きました。
(尾崎行雄、伊勢)
- ・尾鷲地域の、とてもエキサイティングな冬の祭です。ヤーヤ祭と呼ばれます。
(ヤーヤ祭、尾鷲)
- ・彼は民話の登場人物です。悪い大蛇を退治し、村人を救いました。
(種まき権兵衛、紀北)
- ・御在所岳の頂上へは、ロープウェイで行けます。
(御在所、菰野)
- ・亀山で作られたろうそくはとても有名で世界中の人々に愛されています。
(カメヤマローソク、亀山)
- ・彼は江戸時代に偶然ロシアに行き、ロシア文化について学びました。彼は鈴鹿出身です。
(大黒屋光太夫、鈴鹿)
- ・彼は東北から江戸に米を運ぶ新しい航路を開発しました。彼は南伊勢出身です。
(河村瑞賢、南伊勢)
- ・川越町には大きな火力発電所があります。
(火力発電所、川越)
- ・16世紀に、北畠具教は三瀬館で織田信長に滅ぼされました。
(北畠具教、大台)
- ・斎王は伊勢神宮に仕えた女性です。葱華輦と呼ばれる神輿に乘りました。
(斎宮、明和)
- ・彼は東員町出身の偉大な歌舞伎役者です。勧進帳での演技でとても有名になりました。
(七世 松本幸四郎、東員)

P73～ テーマ特集ページ

専修寺 (P73)

専修寺と寺内町

専修寺は津市一身田にある寺です。真宗高田派の本山です。境内には、御影堂、如来堂、唐門、鐘楼といった歴史的建造物があります。こうした建物は「寺内町」と呼ばれる町に囲まれ、歴史的景観をつくりだしています。

御影堂と如来堂

御影堂は専修寺で最古の建物です。江戸時代の木造寺院建築の中ではベスト5に入る大きさです。

如来堂は御影堂の西側にあります。御影堂に比べ、如来堂の面積は小さいですが、高さは同じくらいにつくられています。そのため小さく見えないのです。

平成29年11月28日、御影堂と如来堂は国宝として指定されました。建築物として国宝指定されたのは県内初です。

素もぐりで漁をする女性、海女 (P74)

海女

海女は素もぐりで貝や海藻をとることを生業とする女性のことです。海女は日本と韓国にのみ存在します。伊勢志摩の鳥羽・志摩地域には、日本で最も多くの海女がいます。

海女の獲物

海女はあわび、とこぶし、さざえなどの貝類をとります。わかめ、あらめ、てんぐさなどの海藻もとります。それに加えて、なまこやうに、そして時には伊勢えび、たこをつかまえることもあります。

漁のしかた

海女は潜水器具なしで水深3～4メートルまで素もぐりします。以前は「磯着」と呼ばれる伝統的な白い木綿の着物を着ていましたが、今はウエットスーツを着用することが多いです。海女は、「ノミ」という簡単な道具を使って、手で海産物をとります。

持続可能な漁のために

海産資源保護のため、海女は漁獲の時期や大きさなどに関する規制を守っています。この規制は、資源を獲りすぎることを防ぐ目的で作られたルールなのです。

伊勢志摩サミット (P75)

平成 28 年 5 月 26 日・27 日に、三重の伊勢志摩地域で G7 サミット（伊勢志摩サミット）が行われました。政府首脳が三重を訪れ、地球規模の課題に関して話し合いました。議論の成果は G7 伊勢志摩首脳宣言としてまとめられました。

おもてなし

サミット開催中は、たくさんの人々が三重を訪れました。三重県民はいろいろな方法でそうした人々を歓迎しました。例えば、県内のいろいろな地域が、美しい花壇で飾られました。清掃活動も数多く実施されました。

339 人も外国語ボランティアスタッフが駅、メディアセンターなどで活躍しました。外国語を使って、海外からのお客さまの質問に答えたり、日本文化について説明したりしました。

安全のために

全国から多くの警官が愛知・三重に集まり、あらゆる場所で警備にあたりました。おかげで、サミット期間中、重大な事件や事故はありませんでした。